

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
7 2	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>	
<p>Is alcohol good or bad for Canadian hearts? A time-series analysis of the link between alcohol consumption and IHD mortality.                      アルコールはカナダ人の心臓に良いか悪いのか? 飲酒と虚血性心疾患死亡の解析</p>	
<b>執筆者</b>	
Ramstedt M.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b>	
Drug Alcohol Rev. 2006 Jul;25(4):315-20.	
<b>キーワード</b>	
アルコール消費、カナダ、虚血性心疾患死亡	
<b>要 旨</b>	
<p><b>目的：</b>                      カナダにおける飲酒と虚血性心疾患死亡率の関係を調べた。</p> <p><b>方法：</b>                      1950～1998 年の虚血性心疾患死亡率とアルコール消費量の年次変化との関係を Box and Jenkins の手法を用いて解析した。全ての解析において喫煙の影響は調整した。</p> <p><b>結果：</b>                      1人あたりの飲酒量が1L増加すると全虚血性心疾患死亡は男女ともで増加したが関連は小さく、統計的には有意でなかった。喫煙と虚血性心疾患死亡の関係は有意にあった。男性に特化した解析で、飲酒量と虚血性心疾患死亡との関係を喫煙・その時期の女性の虚血性心疾患死亡率で調整したモデルでは、1人あたりの飲酒量が1L増加すると全虚血性心疾患死亡は1%有意に増加した。男性の年齢別解析では特に大きな影響は見られなかった。</p> <p><b>結論：</b>                      これらの結果より、カナダの結果は、アルコール消費量により抑制される虚血性心疾患死亡が促進される虚血性心疾患死亡より多いという考え方とは一致しなかった。少なくとも男性においては、アルコール消費量が増加すれば虚血性心疾患死亡は減少ではなく、むしろ増加することになるであろう。</p>	